第２２回市民自治推進委員会　育み部会会議録

（敬称略）

◆ 開催日時：平成３０年２月１９日（月）　１７：３０～

◆ 開催場所：登別市役所　２階　第２委員会室

◆ 出席部会員：部会長　　安宅　錦也

副部会長　川村　正勝

　　　　　　　部会員　　仲川　弘誓

　　　　　　　　　　　　 合田　美津子

　　　　　　　　　　　　 磯田　大治

　　　　　　　　　　　　 佐藤　文子

　　　　　　　　　　　　 橋場　太 （協働推進庁内委員会部会長）

【教育部次長】

安部　直也（協働推進庁内委員会副部会長）

【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

◆ 事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

野畑　衣里子【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議題：のびのび公園の利活用等について

**≪事務局≫**

　先月、地域住民等と意見交換会をさせていただいて、いただいた意見を参考に最終的に部会としての考え方をまとめていただきたいと思います。

　部会長よろしくお願いします。

**≪部会長≫**

　事務局からお話にあったように、今日はのびのび公園の利活用についての最終的な部会の考えということでまとめていければと思います。

　最終的に提言書にまとめるという形になると思いますが、提言といっても「こんな形でどうでしょう」という提案書になれば良いと考えているので、「○○すべきだ」ということではないです。

　そういったことを考慮しながら、進めていければと思います。

　提言するにあたり、これまでの経緯をまとめながら、その話し合いの中で部会として基本的な押さえをいくつか出してきました。

　それを基に先日地域関係者等のご意見等を頂きましたので、これを加味した上で今後の方向性とどのような提言の内容が良いのかということを進めていければと思います。

　それぞれがどのようにお考えになるのかという部分をざっくばらんに出していただいて、その上でまとめていければと思います。

　順番にお願いします。

**≪部会員≫**

　提言にまとめていく中で、自分が分類して押さえているのは、一つは健康で身近な公園というのも含まれます。

　もう一つは、予算を増やしたり削ったりするのではなく、言葉は間違っているかもしれませんが、死に金になっていくようなものを、少し別の生きたお金に振り分け直して何とか予算を獲得できないかということです。

　あとは真境名先生がおっしゃっていたように、提案後に施設だけが出来てということではなく、そこに一緒に地域のプレイヤーも関わるというところが肝になるのかなと、この３つが必要だと思いましたので、提言の中にこの３つが組み込めたらなと思いました。

　ここまでやってきたので、何か一歩踏み出すような事業が起こせれば嬉しいと思います。

　話し合っただけで結局何も動かないというのは避けたいと思います。

**≪部会員≫**

　地域の方等の話の中で、ボール遊びのできる公園があれば嬉しいという話がありました。ただ、のびのび公園の周りは住宅街なので騒音に関してのことが心配だという意見が出ていました。

　今、地域の方も色々な所に目を付けていて、少し子ども達が集まったり、大きな声を出したりすると直ぐ学校に苦情がくる時代なので、やはりそれが一番心配です。

　固定ではなくて、多目的広場といいますか、子どもが遊べてお年寄りも遊べるような周りの方も気軽に寄れるような公園だったら良いと思いました。

**≪副部会長≫**

　運動に対するニーズというのが前回出てきましたので、その辺をまとめられる形のものを提案するのが良いかなと思います。

　バックネットだけを設置してあげて、ボールを蹴ったり、ボールを投げたり等運動することが出来る場所を、環境だけをつくってあげて、ニーズに合わせて段階的に整備していくという提案をしていった方が良いのかなと思います。

**≪部会員≫**

　基本的に地域住民等の話し合いまで持っていけたことは部会としてとても良かったと思います。

　ただし、やってみてわかったのでは、これは私たちが決めるのではなく、集まってきてくださった人達に、私達に代わってグループを創ってもらい、話し合ってもらってはと思いました。

　そこで、地域ニーズはどういう課題があるのかというのを自分達で考えてもらう。

　私達はここで方向性や結論を付けたりするものではないですから。

　自治推進委員会のやるべきことは、問題やテーマや課題を地域にどう伝えていくか、広めていくか、そういう役割を担っているはずです。

　そこのところを机上の空論だけではなくて、地域のニーズをどのような形にしていけばいいかという、そういう形にするべきではないかと思いました。

　その上で、実現するかどうかは別ですが、地域について、地域住民がきちんと考えていく機会をつくる。そして将来自治を担う市民としての自覚ができてくる。そういう方向性に持っていかないと私達の役割は何だろうと疑問に思っていましたので、ぜひそのようにしたら良いのではないかと思いました。

　直ぐに結論を出すというのではなく、地域の中で揉んでもらうという投げ方をした方が良いと思いました。

**≪部会員≫**

　今の考え方に賛成で、自治推進がやることは色々な問題点を拾って見つけてあげて市民にフィードバックしてあげて、市民がまちづくりできるのだよというチャンスを与えてあげる。その応援をする組織だと思います。

　その中で、今回は健康から身近な公園を選ばせてもらって、利用率等のデータをとらせてもらったので、この資料は今後も役立ててもらうということで提出するべきだと思います。

　その中で、利用される可能性の高いのびのび公園をモデル的に検討することになりましたが、正直公園１つを変えるのがこんなに大変なのだということがわかりました。

　たった１つ公園にこんなに時間が掛かるので、これではまちづくりは進まないなと思いました。

　こういうところをしっかり練って次へ進まないと、地域等の方々との話し合いを設けさせてもらって収集しましたが、私達の中で資料を整理してもう一度地域等の方々に伺って、最終的なものになれば良いなと思います。

　ボール遊びをする場所が無いという意識は皆さん持っていたので、最低限の整備をしてあげて、あとはその使い道を考えてもらうという提言の仕方が良いのかなと思います。

　ボール遊びをする場所がないということと、ボール遊びをしたいという意識が高いということはわかりましたので、のびのび公園の利活用の大きな候補になるのかなと思います。

　そのために最低限塀だけを造る等、塀だけを造るにしても市が予算を組むと思うのですが、市の予算では組めない、足りないとなった時にいくら足りないのか。それはどうするのかということを、市民も一緒に考えていかなくてはならないと思います。

　市はこれぐらい予算が組めるけどこれ以上は組めない、でも最低限これくらい掛かるとなった場合、それをどうしたら良いか、地域の方が使ってくれるのなら、それを捻出する方法を市民みんなで考えて、地元の企業等の寄付等についても投げかけてもらえれば良いのかなと思います。

　もう一つは、それでも出来ない可能性があります。何も変わらないで終わるのは悔しいです。

　初めは健康の施設としての公園の利用でしたが、利用されていない公園を利用されるようにしようと色々考えました。もしそういうことも出来ないのであれば、あの広場で何ができるか。

例えば街の中でドッグランが出来る公園は無いですが、ペットを飼っている家はたくさんあります。ドッグランは広場さえあればできますし、そういう色々な発想はある訳です。

　第一はボール遊びにニーズがあって、最終的には何らかの形で利用してもらえる公園に変えていくことを考えて、そのような提言書になれば良いかなと思います。発想はまだ色々な人から出てくると思いますので、公園が使われていなくて、税金だけが使われているそれが一番もったいないです。

　市民が一生懸命考えてくれれば、我々は市との橋渡しになりますというような意識付けできるような事業になれば良いなと思います。そういう提言書になれば良いなと思います。

**≪部会長≫**

　今色々と出していただいて、結局今まで話し合ってきた部分をまとめながら、地域の方々に最終的には橋渡しをしていくということですね。

　課題を地域に戻してそれをまちづくりに繋げられるような提言にできればということです。

　その中身については、色々出していただいた地域のニーズにあるボール遊びや先程ありましたドッグラン施設、花などの栽培等も入れながらということになりますね。

**≪部会員≫**

　要望がもっとあがってくると、使われていない公園はたくさんあるので、ここの公園はドッグランに、ここの公園は花を植える公園にしよう等ということが出てくると思います。

**≪部会員≫**

　それは次の段階ですよね。まずはのびのび公園に限定して考えているので、

　のびのび公園のことで集まった方にプラスしてそのことを議論してもらうグループか何かの組織を立ち上げてもらって、そこで揉んでもらって、私達と議論したいということであればそれは継続的に、次のテーマに移ってても対応していけば良いだけの話だと思います。

　提言として出すには、そういう報告まで出来て、これから先はもう少し時間がかかるという形で出しても良いのではないですか。

**≪部会長≫**

　あくまで出てきた意見を取りまとめて、こんな活用の方法もありますよと。あとは地域でもう一度そのニーズに合わせて検討して、我々の方に返していただきたいということですね。それですと、市への提言というよりは、地域に対する提言になってしまうと思います。

**≪部会員≫**

　もう一度、前回お集まりいただいた方々と話し合って提言書を作成すれば良いのではないですか。そして市に投げかけて、そうすると市から何かしらの答えが返ってくると思います。

**≪部会長≫**

　ある程度、地域と我々が協働で話をして考えた部分を提言するということですね。

**≪部会員≫**

　市として可能性のあるものと無いもの、問題点等出てくると思います。

**≪部会員≫**

　大きなテーマというのは、公園のあり方そのものの問いかけですよね。

　健康を考えて絞って公園になりましたが、公園そのものを見ていくと非常に考えなくてはならないテーマが見つかり、それをどうしたら良いかということで一つ具体的には地域住民等と話し合う機会が出来た。

住民の人達に自治意識を持ってもらうという意味での問題提起を投げかけたということで、そこでかなり自治推進委員会としての地域住民との関係性の構築というのもできたし、これからもそれが上手くモデルになるかどうかは別として、他の部会でも生きてくるのではないかと思います。

　自治推進委員会としての役割は何なのかということをきちんと捉えた形に持っていければ良いと思っています。

**≪部会員≫**

　地域の要望があるのかどうかという部分が一番重要だと思います。

　その次に予算的な問題が出てくると思います。

　パネル等に寄付してくれた企業等の名前のプレートを付ける等、そういうことをやってみたことが市の事業でほとんど無いので、チャレンジすることも面白いかもしれません。

**≪庁内委員≫**

　まちづくりの視点でいくと、今とても良い話をしていると思いますが、我々が一年以上話をしてきて、結果まとまらないです。

　それを今度地域の人達に話をしても結果は同じだと思います。

　ですから投げるのではなく、提案という形で持っていくのが良いかなと思います。

**≪部会員≫**

提言書の案を作成して、最終的に市民と調整をしにいく。

**≪庁内委員≫**

　真境名先生がおっしゃっていたように、本当のニーズがあるのかという部分で、ボール遊びをすると言うのですが、実際子ども達の声を我々は直接聞いてないですよね。親も間接で、その子達が実際どのくらい来るのかもわからないですよね。

　そこを把握しないと実際に利用される公園になるのかと思いますので、そこの部分を確認していかなければならないと思います。

**≪部会員≫**

　自治推進委員会の役割とは何かということを政策提言に載せるということは、そもそも一年間何をやっているか分からずに進んできて、今わかったから提言しますと聞こえてしまいます。それはそれで大事だと思いますし、部会の皆さんも我々が今やっている役割って、例えば、他の部会では事業を立ち起して何かを進めていたりしていますよね。

　自分はそれも違和感がありました。

　今の話だと多分、立派な公園を造って、子ども達に遊びなさいと言っても、遊んだことのない子ども達はゲーム機を持ってきてゲームをしてしまうと思います。環境だけが落とし込まれるのではなく、地域住民の皆さんが自分達で決定していきプレイヤーたる人達でそこを作らなくてはならないのだけれども、議論してくださいとなると上手くいかないと思います。

**≪部会員≫**

　議論してくださいというのは先ほど言葉が足りませんでしたが、まず働きかけてもどういう反応を示すか分からない訳ですから、先に２、３打診してみてこちらも考えた方が良いのではないかなと思います。

**≪部会員≫**

　話戻りますが、公園のモデルにのびのび公園を選びましたというのは、一つの見せ方として手段であり目的ではないですよね。

　のびのび公園が立派になることが我々の目的ではないです。

　個人的な意見ですが、そこが整理されていないと、色々な人が色々なことを言って最終的にはまとまらず、何も動くことが出来なくなるのかなと感じました。

**≪部会員≫**

　私たちはのびのび公園の利用率や観点から見ましたが、今度は他の公園について地域の方々が、私たちが考えたようなことをやってくだされば一番理想だと思います。

　そのきっかけにモデルとしてのびのび公園の話をしただけです。

　やはり地域住民が主導という形のまちづくりをしてもらえる一つのきっかけが公園であって、公園でそういうことをすることによって違うことにも地域住民が考えてお互い意見を出すというふうにやってもらうとして、その発想を出してもらうということが、一番の協働のまちづくりの基本ですから、それに対して何が足りないか、その橋渡しをするのが市民自治推進委員会の意味合いだと思います。

　ただ、この間言ったように、ボール遊びが本当に良いのかという話がありましたが、ボール遊びは近くの富岸公園で実績があります。ボール遊びというのは一つのニーズとして十分考えられて間違いない部分だと思います。プラスアルファでもっと良いものがあるかということについて、住民等の意見を聴く価値はあるかもしれないです。

**≪部会長≫**

　私もそう思います。

　富岸公園は、ボール遊びをしたり色々な施設が揃っているので子ども達にとってはすごく魅力的な場所だと思います。

　ですから、何か一つの遊びたいと思えるような要素があれば子ども達は集まってくると思います。そのための場所の提供もしてあげたいし、地域の方々のニーズに合わせて整理してあげることが一つの方法かなと思います。

　今まで色々と話し合ってきて色々な形の公園の活用があり、我々としての考えを地域の方々にもう一度見ていただいて、具体的にまとめたものを見ていただき、地域の方々で付け足すことがあればそれも入れて、最終的に市にフィードバックしていくという方が、中身的には具体的になるのかなと思います。

　ここで我々が地域の方々に投げても、そこで終わってしまうと思います。

　具体的に一つモデル作ったうえで、地域の方々と一緒に実現できるのかどうかということなのかなと思います。

　地域に落しても、なかなかまだ返ってくるようなことは無いと思います。

　それであれば、最初からずっと話してきたのは、モデルを造ってそのモデルを通してまちづくりを一緒に検証していくような、そういう方法の方が具体的で、実現性があると思います。

**≪部会員≫**

　商店街の方々の理解も得られないと公園をどうするという話にはならないですね。

**≪事務局≫**

　先日の地域住民等との話し合いでは、フットサルコートを造ろうと思っていることが明記されていて、時間が経つにつれて、フットサルコートは無くてもボール遊びのできる場所があれば子ども達は遊びますというふうに何となく落ち着きましたよね。

　お金がかからないで実現できそうなことは、公園の看板にボール遊びは禁止と書いてあるのを外してもらうことだと思います。

　草刈りについては、現状年２回行われているものが増えるわけではないですが、子ども達が頻繁に遊んでいればそんなに伸びないですよね。

　前回の地域住民等との話し合いの中で、町内会長からもボール遊びができる公園があればそこに行って遊びなさいと言ってあげられるのにということでした。

　市としてできるとすれば、草刈りの頻度は変わらないと思いますが、ボール遊びをできるようにしてあげることだと思います。

今から何かを造るということを提言しても、平成３０年度から直ぐに実現するのは難しいので、また１年間は何も変わらない状態が続くと思います。

**≪部会員≫**

　そういう事情を話して協力を仰ぐのは良いと思います。

　町内会からももったいないという意見は出ているので、そういう意見を私達がどのようにくみ上げていくかということに絞っていければ良いのではないかなと思います。

**≪部会員≫**

　人工芝というようなことなどは考えずに、まずは出来ればボールが飛び出ないくらいの柵等をしてもらうことと、ボールをぶつけたりできるような壁が何カ所かあれば良いと思います。

**≪事務局≫**

　壁は必要ですか。

　のびのび公園は広いので、壁が無くても友達同士でボールを蹴ったりキャッチボールをすることはできるので、それなら平成３０年度に実現可能だと思います。

　使っていくうちに、打ち壁が欲しい、危ないからネットを付けてほしい等、周りの人からの声も挙がってくればできるのではないかなと思います。

**≪部会員≫**

　建築関係の方等に、ネット設置のボランティアや壁を付けてくれる業者を募集して、名前を入れても良いというふうにするなど、そういうことをしてみても面白いのではないでしょうか。

　初めはボール遊びが出来る雰囲気だけを作るのはどうでしょう。

**≪部会員≫**

　今話にあったように、まずはボール遊びができるよというところから始めても良いのではないですか。

　何でも施設を造る、目に見えないとダメだというのではなく、それは大事な一歩だと思います。

　そこから派生的に色々な意見が出てくれば、また考えれば良い事だと思います。それこそ町内会等地域で考えていく。

　私はなるべく住民の人達が地域で考えていく、解決していくとうい方向付けをしたいのです。

**≪部会員≫**

　ボール遊びをできる公園にする。

　多分その中で、ボール遊びをしながら、あれば助かる物等のニーズを拾いあげて考えていき、ボールが出たりする等迷惑を掛けることもあると思うので、町内会の協力を得て、地域住民の理解だけは町内会で得てもらえるように協力要請をすると良いですね。

**≪部会員≫**

　のびのび公園でボール遊びができますよとなったら、子ども達はどの程度来るのでしょうか。

　実際に小学校等でのびのび公園でボール遊びができることを周知してもらうと子ども達がどのくらい来るのか見てみたいですね。

**≪部会長≫**

　最低限、小さなゴールでも置いてあげれば自分達でルール作って遊ぶと思います。何かないと来ないと思います。

　少なくとも、子どもにとって何か魅力ある物がないと子どもは来ないと思います。

**≪部会員≫**

　プレイリーダーという資格を取るために東京に通っていた時があったのですが、山梨大学の先生が普及していて、元々は里山の話がありまして、子どもに対して遊びを教えてあげる人がいて、遊びをある程度指南してあげて、子ども達が遊びを何となく覚えたら、自分達でルールを変えたり自由にします。そういう発想を持ち始めたら大人はスッと引いていくという役割をするらしいのですが、まさに自治推進委員会が呼び水になってある程度の環境整備をし直して地域が動き始めたらスッと引けば良いのではないのかなと思います。

　そのためには草だけを刈ってどうぞと言われても自分でも行かないです。

　あと、そのプレイヤーの人達に、ある程度インセンティブを与えてあげないと活発に動かないです。

　川上公園を整備した人たちも、誰に何を言われることもなく勝手にきれいにしました。きれいにしてとは一言も言われていません。

　若草町の優和園もそうだと思います。

　そのくらいの呼び水を作っておいて、呼び水として自治推進委員会が動いて、あくまでも今回は公園ですが、他の地域課題があって問題解決に対して自治推進委員会が動いて行政と連携してまたそこの課題解決に呼び水を作って地域が動いたら私たちは引いていくというのが理想かなと思います。

　そこが無くて、そこまでやったからあとはお願いというと、多分人は来ないと思います。

**≪部会員≫**

　当面はのびのび公園に焦点をあてるのですから、のびのび公園で何らかの形を作れば、他については参考にしながら広がっていくと思うので、そんなに人を配置するほど余裕もないですし人材もいないし、だとすれば子どもがボール遊びをできる、自由に使っても良いということと町内会の人達の理解をもらうこの２つは絶対条件だと思います。

　物を置かなければ来ないということは私には理解できません。

**≪部会員≫**

　自治推進委員会の役割として地域課題に取り組んで行ってある程度見出したらあとはそこの地域で議論してもらうとなるとなかなか難しいかなと思います。

**≪部会員≫**

　のびのび公園は施設が近くにあるので、グローブやドッチボールするボールを貸し出す等できればと思います。

新しいものを購入するのではなく、皆さんの家に不用品はあると思うので、広報等で募集するなどし、使用することについても広報等で貸出していることを周知するというのも良いと思います。

ただし、若草つどいセンターで貸出してくれるかどうかは分かりませんが、無料で集めたものなので無くなっても困らないので無料で貸し出してもらうだけでも良いのではないでしょうか。

**≪部会員≫**

　遊んでいる風景が日常にあるようにプロモーションをしないとダメたと思います。

**≪部会員≫**

　若草つどいセンターは児童館があるので、指導員に話して子ども達をのびのび公園で積極的に遊ばせるようにすると、他の子ども達も寄ってくると思います。

**≪部会員≫**

　遊びに来たとして、草は刈ってあるけどボロボロののびのび公園と綺麗なグリーンベルトになっている若草中央公園を比べたら、みんな若草中央公園に行くと思います。

　せめて、何となくきれいな芝生になっていたらみんなあそこでお弁当を食べても良いし遠足の終着点になるかもしれないです。

**≪部会長≫**

　これまでの部分をまとめて今ルールを変えるという部分が１つと地域の町内会の理解を得るということと、モデルとして示す必要があるということで、地域の方と論議できるような形にまとめれば良いかなと思います。

**≪部会員≫**

　今子どもの話になってしまっていますが、午前中はお年寄りの活動の時間帯なので、時間別で子どもが学校に行っている間はお年寄りが使用して、午後は子ども達が使用するというふうにした方が良いのではないですか。

**≪部会員≫**

　そういうことは話し合いの中の割振りで、そういう考え方もどうでしょうかと提言していけば、良いアイデアが出てくるかもしれないです。

　それはこちらでは決められないので、あくまでも使用者側で決めてもらうことだと思います。

**≪部会員≫**

　提言するには、現段階での利用率や整備にかかった費用等を提示して、そこからのスタートになりますね。そこを書いて地域住民に利用されるようなことを書いて、その中から私達の会議の検討課題と地域の方々との話し合いの内容でもって最終的にこういう形になりましたと提案する。

**≪部会員≫**

　この間集まった方達にもう一度どうだったのかということを含めてフィードバックした方が良いですね。

**≪部会員≫**

　順番でいくとのびのび公園のスタイルがモデルになって、他の地域で使われていない公園を有効に使うためには地域で議論してくれればそのチャンスが生まれますよということですね。

**≪部会長≫**

　成功事例として提示できれば良いと思います。

**≪部会員≫**

　つくった住民は、自分達の考えや意見で実現したということになると、草刈り等についても行うと思います。

**≪部会長≫**

　今いただいた部分で一度まとめてきます。

**≪部会員≫**

　前にとったアンケートののびのび公園の部分だけを拾ってもらうのと、のびのび公園を整備したときの費用等わかる部分を調べてください。

**≪部会長≫**

　のびのび公園の利用率の部分と、今言った整備に平成何年度にいくら掛かっているのかという部分を事務局で資料として用意してください。

　今後の方向性を含めて今までの議論を私がまとめさせていただきます。

**≪事務局≫**

　あとは、ボール遊びが出来ない部分をできるように市民自治推進委員会として変えようとしていることを伝えて、どのような手順でできるのかという部分を確認しておきます。

**≪部会員≫**

　もう一つ入れてもらいたいことが、前から言っていますが整備費に２分の１が国の補助金なので、もう少し有効に利用できるように国に働きかけてほしいということを入れていただきたいです。

**≪部会長≫**

　次回までに私の方でまとめます。

**≪部会員≫**

　次回その提言書を確認して、３月末から４月上旬くらいに前回集まっていただいた方々とお話ししたいですね。

**≪部会長≫**

　そうすれば平成３０年度には間に合わなくても、ある程度形にして次の予算も含めた話し合いになりますね。

**≪事務局≫**

　ＰＴＡ役員の任期はいつまでですか。

**≪部会長≫**

　今年度、３月いっぱいです。

**≪事務局≫**

　それでしたら３月中に実施しないと集まってもらえないですね。

**≪部会長≫**

　そうですね。

　卒業式は２０日前後なのでそれが終わって３月末なら出てもらえるかもしれません。

　３月２６日（月）を地域との話し合いにしますか。

　つどいセンターは予約が入って使えないので若草小学校を使用できるか確認します。場所は未定でお願いします。

　次回部会は３月５日（月）に部会を開催します。

　そこで、提言書の原案を検討していただいて、修正したうえで２６日に地域との話し合いを行います。

**≪事務局≫**

　事務局から連絡です。

　皆さん任期が２年間となっていますが、４月で２年経ちますので、団体推薦の方は団体にお願いしますし、個人の方はそれぞれお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

【次回会議について】

　平成３０年３月５日（月）１７時３０分から